



平成30年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月2日
上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治
兼管理本部長
兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成30年7月4日 配当支払開始予定日 平成30年8月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第2四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	13,320	△5.8	554	△44.5	547	△46.8	341	△79.1
29年11月期第2四半期	14,144	5.3	998	11.4	1,029	11.2	1,632	98.9

(注) 包括利益 30年11月期第2四半期 225百万円(△91.8%) 29年11月期第2四半期 2,744百万円(400.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	15.60	—
29年11月期第2四半期	73.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第2四半期	39,109	21,227	53.6
29年11月期	39,953	21,273	52.6

(参考) 自己資本 30年11月期第2四半期 20,966百万円 29年11月期 21,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	5.00	—	14.00	19.00
30年11月期	—	6.00	—	—	—
30年11月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,900	△5.2	1,250	△29.5	1,450	△28.5	1,000	△55.7	45.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年11月期2Q	22,167,211株	29年11月期	22,167,211株
30年11月期2Q	263,579株	29年11月期	334,801株
30年11月期2Q	21,861,827株	29年11月期2Q	22,115,883株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(30年11月期第2四半期 227,100株、29年11月期 298,500株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けております。海外経済は、緩やかな成長が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年度から平成31年度までの3か年を対象として策定した「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」に基づき、各事業の特性に応じた施策の実施に努めました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高13,320百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は産業用機能フィルター・コンベア事業および電子部材・フォトマスク事業の利益率低下の影響により554百万円（前年同期比44.5%減）となりました。経常利益は主に持分法による投資利益の減少により547百万円（前年同期比46.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に繰延税金資産を計上した影響で法人税等が増加した結果、341百万円（前年同期比79.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の事業で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他産業用フィルター・コンベア分野	「ふるい分け」、「ろ過」、「搬送」用の工業用金網の製造・販売
高機能吸着剤分野	金属吸着カートリッジフィルター、におい吸着繊維の開発・販売

製紙製品分野では、国内売上高は前年同期並みとなりました。海外売上高は前年同期と比べ出荷数量、金額とも増加いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、前年同期と比べ食品業界向けを中心としたコンベアベルトの販売が減少いたしました。主に苛性ソーダ生成用金網と海外向け材料販売が増加したため売上高は増加いたしました。

高機能吸着剤分野の売上高は前年同期並みとなりました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は9,035百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は売上構成の変化による利益率の低下と退職給付費用などの費用の増加により708百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の事業で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体、ディスプレイ、プリント基板、MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターニングの原版となるフォトマスクの製造・販売
太陽光発電システム設備販売分野	太陽光発電部材の販売、太陽光発電システム設備の販売

エッチング加工製品分野では、前年同期と比べ主に大型・中型タッチパネル製品の加工料収入の割合が増えたため売上高は減少いたしました。利益は原価低減の影響で増加いたしました。

フォトマスク製品分野では、前年同期と比べ生産および出荷数量が減少したため売上高、利益ともに減少いたしました。

太陽光発電システム設備販売分野では、前年同期と比べ完成引き渡し数が減少したため売上高は減少いたしました。また、大型案件の採算が悪化したため利益は大きく減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,975百万円（前年同期比22.9%減）、営業利益は135百万円（前年同期比60.5%減）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は以下の事業で構成されます。

アクア事業	プール、ろ過装置の設計・販売
プロダクト事業	防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売

アクア事業では、前年同期と比べ主に受注金額の高い案件の完成引き渡し数が減少したため売上高は減少いたしました。

プロダクト事業では、防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)が漁港案件に出荷されたため売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は788百万円（前年同期比15.3%減）、営業損失は15百万円（前年同期営業利益34百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗、マンション、駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は520百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は390百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異663百万円（前年同期比11.3%減）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ556百万円減少し、18,108百万円となりました。これは主として、現金及び預金が218百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が572百万円、仕掛品が325百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ288百万円減少し、21,000百万円となりました。これは主として、投資有価証券が229百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ844百万円減少し、39,109百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ335百万円減少し、11,836百万円となりました。これは主として、短期借入金が1,249百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が436百万円、1年内返済予定の長期借入金が167百万円、その他が878百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ462百万円減少し、6,045百万円となりました。これは主として、長期借入金が371百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ797百万円減少し、17,882百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、21,227百万円となりました。これは主として、利益剰余金が31百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益341百万円、剰余金の配当309百万円）、退職給付に係る調整累計額が32百万円それぞれ増加した一方で、その他有価証券評価差額金が76百万円、為替換算調整勘定が77百万円それぞれ減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、4,202百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益547百万円、減価償却費708百万円などにより、921百万円の収入(前第2四半期連結累計期間に比べ171百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,078百万円などにより1,156百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ269百万円の支出減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出521百万円などがありましたが、短期借入金の純増減額1,258百万円などにより、448百万円の収入(前第2四半期連結累計期間に比べ389百万円の収入増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月期の連結業績予想につきましては、平成30年1月10日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,054,894	4,273,179
受取手形及び売掛金	7,946,429	7,374,332
商品及び製品	3,202,850	3,142,754
仕掛品	1,622,955	1,297,643
原材料及び貯蔵品	1,255,305	1,285,289
その他	634,879	780,746
貸倒引当金	△52,853	△45,525
流動資産合計	18,664,462	18,108,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,545,095	5,424,858
機械装置及び運搬具(純額)	2,602,008	2,735,611
土地	4,258,767	4,249,115
その他(純額)	659,206	639,136
有形固定資産合計	13,065,077	13,048,720
無形固定資産		
のれん	531,582	473,692
その他	417,613	419,255
無形固定資産合計	949,196	892,948
投資その他の資産		
投資有価証券	4,350,104	4,120,450
リース投資資産	507,434	497,033
その他	2,423,397	2,447,793
貸倒引当金	△6,061	△6,155
投資その他の資産合計	7,274,875	7,059,122
固定資産合計	21,289,149	21,000,790
資産合計	39,953,611	39,109,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,081,148	3,644,825
短期借入金	3,334,919	4,584,567
1年内返済予定の長期借入金	1,613,495	1,446,302
未払法人税等	222,179	118,441
賞与引当金	59,907	60,926
その他	2,860,464	1,981,832
流動負債合計	12,172,114	11,836,895
固定負債		
長期借入金	3,689,782	3,318,160
退職給付に係る負債	195,244	200,525
長期預り敷金保証金	1,319,408	1,270,376
資産除去債務	103,711	103,863
環境対策引当金	116,180	116,180
その他	1,083,263	1,036,016
固定負債合計	6,507,589	6,045,122
負債合計	18,679,704	17,882,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	14,677,058	14,708,377
自己株式	△207,804	△165,085
株主資本合計	19,067,160	19,141,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,067,108	990,750
繰延ヘッジ損益	2,299	△1,688
為替換算調整勘定	348,467	270,677
退職給付に係る調整累計額	533,055	565,291
その他の包括利益累計額合計	1,950,930	1,825,030
非支配株主持分	255,816	260,962
純資産合計	21,273,907	21,227,192
負債純資産合計	39,953,611	39,109,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	14,144,972	13,320,952
売上原価	9,115,657	8,831,747
売上総利益	5,029,315	4,489,204
販売費及び一般管理費	4,030,744	3,934,906
営業利益	998,570	554,298
営業外収益		
受取利息	2,232	2,616
受取配当金	13,807	13,807
持分法による投資利益	126,903	56,444
その他	101,553	43,565
営業外収益合計	244,496	116,433
営業外費用		
支払利息	41,665	39,987
為替差損	72,436	52,407
その他	99,634	30,466
営業外費用合計	213,737	122,862
経常利益	1,029,329	547,869
税金等調整前四半期純利益	1,029,329	547,869
法人税等	△614,834	196,202
四半期純利益	1,644,164	351,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,702	10,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,632,462	341,152

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	1,644,164	351,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,447	△76,358
繰延ヘッジ損益	4,832	△3,987
為替換算調整勘定	695,365	△55,767
退職給付に係る調整額	82,928	32,236
持分法適用会社に対する持分相当額	95,634	△21,795
その他の包括利益合計	1,100,208	△125,673
四半期包括利益	2,744,373	225,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,773,901	215,251
非支配株主に係る四半期包括利益	△29,528	10,742

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,029,329	547,869
減価償却費	708,196	708,633
のれん償却額	40,397	39,679
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,896	7,720
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45,545	△4,562
受取利息及び受取配当金	△16,039	△16,423
支払利息	41,665	39,987
持分法による投資損益(△は益)	△126,903	△56,444
投資有価証券評価損益(△は益)	29,377	—
売上債権の増減額(△は増加)	△30,731	518,059
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,007	337,415
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△33,852	△33,173
仕入債務の増減額(△は減少)	38,330	29,798
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,238	△22,787
その他	△537,575	△932,683
小計	996,298	1,163,089
利息及び配当金の受取額	16,151	16,417
利息の支払額	△39,215	△40,675
法人税等の支払額	△232,075	△232,783
法人税等の還付額	8,382	15,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	749,540	921,433
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,320,458	△1,078,989
無形固定資産の取得による支出	△75,171	△36,391
長期預り敷金保証金の返還による支出	△73,035	△57,893
その他	42,531	16,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426,134	△1,156,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△89,711	1,258,684
長期借入れによる収入	1,100,000	—
長期借入金の返済による支出	△754,159	△521,884
配当金の支払額	△199,180	△309,832
その他	1,769	21,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,718	448,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	195,684	△12,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△422,190	201,098
現金及び現金同等物の期首残高	4,125,273	4,001,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,703,082	4,202,916

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォトマスク 事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,834,439	3,859,744	931,147	519,641	14,144,972	—	14,144,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,623	1,610	753	—	13,986	△13,986	—
計	8,846,063	3,861,354	931,900	519,641	14,158,959	△13,986	14,144,972
セグメント利益	980,630	342,570	34,227	389,666	1,747,094	△748,523	998,570

(注) 1 セグメント利益の調整額△748,523千円は、内部取引にかかわる調整額△3,552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△744,970千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォトマスク 事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,035,761	2,975,958	788,540	520,691	13,320,952	—	13,320,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,080	119	—	1,199	△1,199	—
計	9,035,761	2,977,038	788,659	520,691	13,322,151	△1,199	13,320,952
セグメント利益 又は損失(△)	708,631	135,325	△15,839	390,006	1,218,124	△663,826	554,298

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△663,826千円は、内部取引にかかわる調整額△245千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△663,581千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。